

1. 研究課題名

多発性骨髄腫の4剤併用療法が自家末梢血幹細胞採取に与える影響の評価

2. 試料・情報

(1) 利用目的

本研究は、多発性骨髄腫の治療として2022年以降に3剤併用療法（VRd療法、DRd療法など）または4剤併用療法（IsaVRd療法またはDaraVRd療法）による治療を行った患者さんのうち、自家末梢血幹細胞移植を行った方または行う予定の方を対象としています。電子カルテからの診療情報を得て、治療内容、血液検査データ、自家末梢血幹細胞採取時の幹細胞数などについて調べさせていただきます。この研究によって、自家末梢血幹細胞採取の効率が良い患者さんを抽出し、今後の幹細胞採取効率の向上につながることを期待されます。研究期間は承認日から2027年3月までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2022年1月から2027年3月の間に、3剤併用療法（VRd療法、DRd療法など）または4剤併用療法（IsaVRd療法またはDaraVRd療法）による治療を受けられた方のうち、自家末梢血幹細胞移植を行った方または行う予定の方を対象としています。研究は診療記録を利用して行います。利用する情報は、1) 年齢 2) 性別 3) 多発性骨髄腫のサブタイプ 4) 多発性骨髄腫の治療歴 5) 既往歴 6) 併用薬 7) 奏効・治療期間 8) 治療開始時の臓器障害 9) 生存・再発の有無などで、利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

診療記録から得られた情報において、個人を識別できる情報は削除いたします。ただし、センターでは個人情報に十分な配慮をしたうえで、誰の情報なのか、後からでもわかるように管理をいたします。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 血液内科 杉田祥太郎（研究責任者）

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当 : 血液内科 杉田祥太郎・菊池拓